

## 令和５年度 向日市競輪対策協議会議事録

|                        |                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時                   | 令和６年２月９日（金）<br>午後２時００分から午後３時００分まで                                                                                                                                                                                                           |
| 開催場所                   | 向日市役所 本館３階 第７会議室                                                                                                                                                                                                                            |
| 出席委員                   | 安田市長（会長）、鈴木副市長（副会長）、中地副市長（副会長）、木村向日市区長会長、岡崎寺戸町連合自治会長、西川向日台連合自治会長、嶋田向日区長、北川向日市ＰＴＡ連絡協議会理事、磯野京都府議会議員、米重まちづくり特別委員会委員長、林まちづくり特別委員会副委員長、中島京都府山城広域振興局副局長、福井京都府自転車競技事務所長、橋田京都府乙訓土木事務所長、松下向日町警察署地域課長（署長代理）、砂子坂京都府文化施設政策監付理事、山田京都府総務部副部長、仲村京都府総務部企画参事 |
| 欠席者                    | 中西向日市校長会会長、高橋向日市商工会長、上田向日市議会議長、丹野向日市議会副議長                                                                                                                                                                                                   |
| 事務局                    | 水上総務部長、行元総務部副部長、松井係長、市原主任                                                                                                                                                                                                                   |
| 関係職員<br>（京都府）<br>（向日市） | 是洞京都府自転車競技事務所次長<br>福岡都市整備部長                                                                                                                                                                                                                 |
| 傍聴者                    | ０名                                                                                                                                                                                                                                          |
| 議題                     | （１）競輪場開催状況等について<br>（２）今後の競輪事業の運営等について<br>（３）その他                                                                                                                                                                                             |

## 内 容

### 議題（１）競輪場開催状況等について

#### ―資料の説明― （京都府自転車競技事務所長）

##### P 1 「入場者数及び売上額推移」

- 平成 13 年、平成 14 年と実質赤字が出たことから経営改善に取り組み、自動券売機の導入による人件費の削減と特別競輪の誘致を実施。結果、一時期収支は好転したものの、平成 21 年、平成 22 年で再度実質赤字に。平成 29 年度から包括的な民間委託を導入し、令和 6 年度が第 2 期目委託期間の最終年度。その他、競輪の施行者同士で受託契約を結び、他の競輪場の車券も発売するなど相互補完し合っている状況。

##### ○令和 4 年度実績

|      |       |                               |
|------|-------|-------------------------------|
| 本場開催 | 開催日数： | 58 日（うち 21 日がミッドナイト競輪）        |
|      | 入場者数： | 3 万 2, 139 人（前年度比 131.9%）     |
|      | 売上額：  | 約 227 億 3, 000 万円（前年度比 97.1%） |

令和 2 年度から 3 年度にかけて売上額は倍増しており、令和 4 年度も 200 億円台を維持している。無観客でインターネット発売になるミッドナイト競輪が売上の半分近くを占めている。発売方法については、インターネットでの販売が売上の半分以上を占めている。

|      |       |                               |
|------|-------|-------------------------------|
| 場外開催 | 開催日数： | 302 日                         |
|      | 入場者数： | 約 26 万 7, 906 人（前年度比 115.4%）  |
|      | 売上額：  | 約 27 億 8, 000 万円（前年度比 108.7%） |

※本場開催：向日町競輪場でレースを行うもの。

場外開催：他の競輪場で開催されているレースの受託販売を行うもの。

##### P 7 「令和 5 年度 開催別売上額の内訳」

- 本場開催の売上額は、令和 6 年 1 月末時点で約 266 億 7, 000 万円。  
ここ数年では一番売上が増加しており、その要因としては、従来実施している「平安賞」に加え、別枠で「京都向日町カップ」を実施したことが大きい。

##### P 8 「収支の状況」

- 令和 4 年度の単年度純収支が約 5 億 8, 000 万円となっており、そのうち 2 億円を京都府の一般会計に繰り出し、令和 4 年度から開始した施設整備基金に 3 億 6, 600 万円積み立てた。支出に関しては、7 割以上が払戻金であり、その他民間ポータル事業者への発売委託料などであった。

## P 9 「特徴的な取組」

- ナイター照明整備を実施し、令和3年度からミッドナイト競輪の向日町競輪場での開催を実施。ミッドナイト競輪は無観客開催のため、警備、清掃、発売、払戻業務等の経費が抑制される。向日町競輪場での開催に伴い、開催回数が年4回から年8回に増加。
- インターネットの購入増加に伴い、競輪場内にあるスタジオをCSチャンネルが放送できる仕様に改装するとともに、使用していない場内の車券売場をYouTubeの専用スタジオに改装して番組を発信。

## P 10 「地域貢献・自転車競技振興の状況」

- 向日市との連携については、地域の環境整備等の事業に対して交付金を交付。また、向日市競輪対策協議会に出席し、開催状況や取組状況の報告、相談を実施。
- 竹の里・乙訓物産展、KARA-1 グランプリについて開催場所を提供。KARA-1 グランプリは、令和4年度に関係者と連携し、激辛とイルミネーションイベントを合わせ、リニューアルして開催。
- 場内の各施設について、市を窓口として市民に開放。
- 京都府自転車競技連盟と連携した府の国体予選や、京都府高校体育連盟と連携したインターハイ予選に利用されているほか、委託事業者であるJPFの独自事業として、土・日曜日を中心にバンク走行体験やBMXコースに活用してもらい、集客に取り組んでいる。

## 議題（2）今後の競輪事業の運営等について

### —資料の説明— （京都府自転車競技事務所長）

京都府として、向日町競輪場の再整備に当たり、向日町競輪場基本構想を昨年12月に策定し、①安全・快適でコンパクト、②自転車競技関係者や自転車愛好家が集う、③地域との共生をコンセプトに全面的なリニューアルを図っていく。

競輪場の敷地は、埋蔵文化財包蔵地に該当するため、文化財保護法に基づいて、事前に文化庁へ協議の上、必要に応じて、工事前に発掘調査等を行わなければならない。

発掘状況によっては、再整備計画の見直しを考えなければならないため、早急に敷地全体の埋蔵文化財調査を開始していきたいと考えており、今後の予定として、まず、2月13日から東入場門の付近で試掘を実施。続いて敷地全体の本掘調査の準備として、令和6年3月以降、BMX等コースの移設、西入場門付近の塀の撤去などを行い、令和6年度上半期中には、西入場門を含む周辺の施設を解体後、埋蔵文化財調査を行っていくスケジュールとしている。

一方で、向日市への交付金や施設の維持費などの支出を滞らせるわけにはいかないので、令和6年度下半期から他の競輪場を借り上げて競輪の開催を続けていくとともに、中央スタンドや第1投票所にある車券の投票機を、敷地内で集約して場外開催の車券発売を継続することにより、一定の売上を維持していきたいと考えている。

(委 員)

基本構想に再整備のスケジュールが記載されているが、今後の工事予定は別に示されるのか。

(京都府)

具体的な工事の予定が決まってきたら、その都度、向日市や自治会等と相談しながら地域の方にお知らせしたいと考えている。

### 議題（３）その他

(委 員)

向日市内で雇用を生み出していた競輪場内の売店について。施設の解体が進められていく中で、売店があるエリアの工事スケジュールはわかっているのか。また競輪場のリニューアル後、売店の選定はどのようにして進めるのか。既存の売店に営業再開の案内は送付するのか。

(京都府)

競輪場にある売店については、埋蔵文化財調査等を進めていくため３月中に閉鎖してもらうことになる。リニューアル後の売店の選定などは、今後具体的な整備手法を検討する中で、民間事業者から意見徴取などを実施し、決定していくことになる。

(委 員)

競輪場北側にある公園は、工事が始まった場合にいつ頃から入れなくなるのか。

(京都府)

具体的に決まっていないが、使用できなくなる場合は、早めにお知らせしなければならないと思っている。

(委 員)

リニューアル後の競輪場が、子どもたちの楽しめる施設になるよう検討いただきたい。

(会 長)

市民の皆様が誇れる、行きたくなるような施設になるように願っているので、本日出た意見や要望を十分に検討いただきたいと思います。